

2016年11月吉日

報道関係各位

JCF 学生映画祭実行委員会
実行委員長 高 秀蘭



**ワオ・コーポレーション presents 「第14回 JCF 学生映画祭」 特別上映に、
八代健志監督の話題のストップモーションアニメが決定！**

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当映画祭に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。JCF 学生映画祭は、<次代を担う映画監督の発掘と育成！>をテーマに、第1回 JCF 学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出して参りました。

本年は、本 学生映画祭として初めて関西で、「第14回 JCF 学生映画祭」(URL <http://www.jcf.jp.com/>)を、11月25日(金)、11月26日(土)の両日開催いたします。この度、特別上映映画として、八代健志監督の話題のストップモーションアニメが決定いたしました。「ストップモーションアニメ」は、一般的な粘土を材料としたクレアアニメではなく、独自の技法を用いての木彫刻により、天然木の暖かさを残しつつ、深みのあるキャラクターの表情の色合いを実現された技術の高い作品で、学生映画祭にふさわしい映画となっております。

敬具

<特別上映>



身長 20~30cm、森に生息する“旅人”。

人目につかない自然の中で、人間界と異なる時間軸(超スローモーション)で様々な生きる知恵を学んで生存する。

八代 健志 プロフィール

日本マクドナルドや大塚製薬、サッポロ、日本郵政、Jリーグ など数々の大手企業のテレビCMを手がけ、ストップモーションアニメとして眠れない夜の月やノーマン・ザ・スノーマン~北の国のオーロラ~などを持つ。

<第 14 回 JCF 学生映画祭 開催概要>

- 名 称 ワオ・コーポレーション presents 第 14 回 JCF 学生映画祭
- U R L <http://www.jcf.jp/>
- 開催目的 日本だけではなく、アジアの将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指すポリシーをそのままに、第 14 回を迎える JCF 学生映画祭 を開催し、映像のチカラで日本を元気に活性化させることを目指します。
- 開催日 2016 年 11 月 25 日（金）、26 日（土）
- 開催場所 11 月 25 日 京都西陣 IT 路地（京都府京都市）
11 月 26 日 心斎橋 S U N H A L L（大阪府大阪市）
- 主 催 JCF 学生映画祭実行委員会
- 特別顧問 西澤昭男（株式会社ワオ・コーポレーション代表取締役）
- 顧 問 溝畑宏（公益財団法人大阪観光局理事長）
- 実行委員長 高 秀蘭（映画プロデューサー）
- 実行委員 大和田 廣樹（映画プロデューサー、株式会社ブロードバンドタワー
取締役副社長）
- 実行委員 磯久 五郎（株式会社 56 設計舎代表取締役）
- 実行委員 太田 雅人（ゲッティグループ代表、JCF 学生映画祭ファウンダー）
- 制作運営 JCF 学生映画祭運営事務局
- 協 賛 株式会社ワオ・コーポレーション
- 後 援 公益財団法人大阪観光局、ABC ライツマネジメント、5L、CAMPUSNAVI.COM
- 協 力 NEWWAVE、ドリームキッド、GX Overseas Limited.
- 行事内容
 - ◎国内コンペティションプログラム
 - 長編 学生映画アワード部門（入賞 5 作品を京都会場で 11 月 25 日に上映）
<WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD>
 - 短編 学生ショートムービーアワード部門（入賞作品 11 作品を大阪会場で 11 月 26 日に上映）
 - ◎表彰式プログラム
 - ◎特別プログラム
 - 日中韓国際学生映画上映会（日本長編部門 GP 作品と中韓の学生映画監督の作品）
 - ◎シネマフォーラムプログラム
 - ◎レセプションパーティ（26 日表彰式終了後）
- 入場料 無料（入退場自由）

<「JCF 学生映画祭」これまでの歩み>

JCF 学生映画祭は、1989 年当時の竹下内閣の<ふるさと創生資金>の 1 億円を活用した地域振興という目的の為に、夕張市が主催・開催していた「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」(現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います。)の 10 周年特別協賛企画として、1999 年に<学生映画の甲子園>を合言葉に、当時の 949 団体のクラブ・同好会・サークルが所属する日本サークル連盟 (Japan Club・Circle Federation) が主催した<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 特別協賛企画 第 1 回 JCF 学生映画祭>の流れを組み、第 1 回から第 3 回までを夕張市で開催、第 4 回は沖縄県那覇市と共催でアジア部門も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。第 5 回目は初の東京開催で、東京お台場の温泉施設「大江戸温泉」内で「世界初! 畳の上で映画祭」を開催、2010 年に LVMH (ルイヴィトン) 映画祭で短編部門グランプリを受賞した月川翔君 (当時成蹊大学在学) を輩出しました。第 6 回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALL で開催し、国際学生映画祭として世界各国の学生作品を集め世界のレベルを披露致しました。第 7 回は運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行し東京・上野の東京国立博物館で開催いたしました。その後、2007 年の夕張市の財政破綻の報を聞き、2007 年、2008 年とこの映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをしようということで、夕張国際学生映画祭 2007・2008 を夕張で開催致しました。

財政破綻の影響で中止になった「ゆうばりファンタスティック映画祭」も、地元 NPO 法人の運営により復活を果たし、夕張での学生映画祭の 2 年間の活動の成果も残すことができました。2011 年には、鳥取県米子市にて第 10 回記念を開催。映画部門の他、アニメ部門、鳥取観光 CM アイデア部門や開催地の米子市でのアニメ・映画イベントをつなぐ、【米子クリエイティブブリッジフォーラム】や 10 回記念開催として歴代入賞監督で映画の第一線で活躍するを招いたフォーラムの実施致しました。2012 年も鳥取県米子市で映画部門、アニメ部門を開催し、特別企画として、米子市助成の【ヨナゴコレクション】ファッションショーを開催致しました。2013 年は、鳥取県米子市でクリエイティブイベントの【ヨナゴワンダー】に最終日として開催致しました。地域特性に合わせて映画部門、アニメ部門に加えてマンガ部門を新設開催致しました。2016 年(第 14 回)は、JCF 学生映画祭として初めて、関西・大阪で開催いたします。

■本件に関するお問い合わせ先

〒107-0062 東京都港区南青山 2 丁目 22 番 14 号 フォンテ青山 9 階
第 14 回 JCF 学生映画祭運営事務局
TEL. 03-5775-0666/FAX. 03-3582-0680

以上